

編集後記

COVID-19 感染は7月以来増え続け、都内での発生者数は1日200人以上の日が続いており、明らかに第2波といえる様相を呈している。厚労省のホームページによると、8月15日現在の国内での新型コロナウイルス感染症の感染者は53,577名、死亡者は1,085名となっている。また、入院治療等を要する者は13,338名、退院又は療養解除となった者は38,945名となった。

今回の第2波は東京圏のみでなく、大阪、愛知、福岡、沖縄などもかなりの感染者を認めており、いつ収束するのか全く見通せない。経済とCOVID-19感染予防の両立の難しさが問題となっている。先日の内科学会総会でも緊急シンポジウムが開かれ、病気の実態解明は進んできたし、医学的対応も初期に比べれば進歩してきたと思われる。しかし、新規患者の発生数が多くなれば、医療状況が逼迫してくる可能性も高く、今後の情勢に注意が必要である。COVID-19感染に関連して凝固が亢進し、脳梗塞や脳静脈洞血栓症などを起こすことや、感染後にGuillain-Barre症候群を呈することなどが報告されており、脳神経内科分野

でも重要な疾患となってきた。

日本神経学会総会も延期され、8月31日から9月2日にかけて開催されることとなった。Webも使ったハイブリッドタイプの学会となるが、初めての試みであり、準備に関わっておられる皆様に敬意を表したい。先日開催された大きな学会では、多くの方がオンラインの講義に殺到し、なかなかうまく繋がらない現象が生じたようであり、学会主催者のご苦勞はいかばかりかと思う。

最近では地球温暖化の影響による大雨の被害も目立っている。熊本の水害、山形の水害に関しては、日本神経学会の災害支援ネットワークの掲示板に熊本大学脳神経内科の植田光晴先生からの報告、山形県神経難病リエゾンの亀谷紫美美先生からの報告が載っており、本学会の災害支援ネットワークが機能していることが示された。

日本神経学会が取り組んでいるこれら様々なテーマに関しても、多くの会員の方から本誌への投稿を期待したい。

(荒木 信夫)

〈編集委員〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡 古賀 政利
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」 第60巻 第9号 2020年9月1日発行
 編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
 発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 戸田 達史
 印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル
 日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>